

急激に変わる食のあり方 ～わたしたちの食の未来はどうあるべきか？～

日時

12月10日(日)

19:30~21:00
(19:15より入室可)

会場

Zoomによるオンライン開催(参加費800円、80名)



講師：印鑰智哉(いんやくともや)氏

OKシードプロジェクト事務局長

<プロフィール>

アジア太平洋資料センター(PARC)、ブラジル社会経済分析研究所(IBASE)、Greenpeace、オルター・トレード・ジャパン政策室室長を経て、現在はフリーの立場で世界の食と農の問題を追いつつ、OKシードプロジェクト事務局長。2022年から食からの情報民主化プロジェクトを構想・実行中。

【セミナー内容】

食は生きる上で不可欠で、食の権利、食の決定権は基本的人権の基礎です。でも、ここ数年、急激に新たな技術が導入され、その権利が脅かされています。新たな遺伝子操作技術である「ゲノム編集」、世界的には終わりを迎えたはずの放射線育種でも新たな技術が作られ、これらが使われた食品は表示が一切されず、選択する権利が奪われようとしています。

細胞性食品や合成生物学による合成生物による食品も続々と登場してきていますが、これらは私たちの食にどんな影響を与えるのでしょうか？ 気候危機、生物絶滅危機、戦争の危機の中で、食料危機も大きな懸念となっています。解決策としてのアグロエコロジーと社会変革について考えます。

お申し込み方法

以下のフォームから
事前にお申込みください。

申込締切

12月9日(土) 15時まで

<https://peatix.com/event/3726809/view>

開催日前日までに、Zoom参加者用URLをお送りします。

ご質問等がありましたら、下記にお問い合わせください。

セミナー事務局 chigasaki.oh.conlabo@gmail.com



お申込みQRコード

主催：国際婦人年連絡会

<https://iwylg-jp.com/> Eメール：iwylg-i@nifty.com